

## 地域リーダーへの アンケート結果集計

### ◆集計概要

- ・調査期間 平成30年12月26日 ～ 平成31年1月10日
- ・調査総数 47建築士会の内
  - 回答16士会 (北海道、秋田、栃木、群馬、東京、新潟、岐阜、大阪、兵庫、山口、徳島、愛媛、佐賀、熊本、宮崎、沖縄)
  - 回答なし31士会 (青森、岩手、宮城、山形、福島、茨城、埼玉、千葉、神奈川、山梨、長野、静岡、愛知、三重、富山、石川、福井、滋賀、京都、奈良、和歌山、鳥取、島根、岡山、広島、香川、愛媛、高知、福岡、長崎、大分、鹿児島)
- ・男女区分 男性 7人 女性 9人
- ・年齢 40代 2人 50代 9人 60代 3人 70代 1人 無回答 1人
- ・ブロック長 5人 副ブロック長 2人 地域リーダー 12人 その他 3人 (複数回答あり)

### Q1 あなたの建築士会では『福祉分野の建築士の育成』を意識していますか？

- ・非常に意識している 4人 (秋田、新潟、岐阜、徳島)
- ・少し意識している 12人 (北海道、栃木、群馬、東京、大阪、兵庫、山口、愛媛、佐賀、熊本、宮崎、沖縄)
- ・全く意識していない 0人

#### 【問題は？】

- ・福祉について学ぶ意識は高いと思いますが「育成」という言葉には違和感があります。(東京)
- ・メンバー減による活動の実効性。若手が興味を示さない。(徳島)
- ・関心が低いと感じられる。(宮崎)

### Q2-1 福祉まちづくりの活動母体はありますか？

- ・ある 5人 (群馬、東京、岐阜、徳島、宮崎)
- ・ない 10人 (北海道、秋田、栃木、新潟、大阪、兵庫、山口、愛媛、佐賀、沖縄)

### Q2-2 あなたは？

- ・活動中 4人 (群馬、東京、徳島、宮崎)
- ・検討中 6人 (北海道、新潟、岐阜、大阪、山口、熊本)
- ・準備中 2人 (秋田、兵庫)
- ・全く考えていない 2人 (佐賀、沖縄)

#### 【問題は？】

- ・予算化のためにも、まずは会員に呼びかけ賛同者を集める予定。(秋田)
- ・啓蒙活動や、行政との連携はまだまだだと感じています。(東京)

- ・周知が難しい。（岐阜）
- ・大阪府建築士会としてどのように組織化するか。（大阪）
- ・必要と認識している。活動に向けての体制づくりを模索中。（兵庫）
- ・若い世代の会員を求めているが入会がない。（徳島）
- ・建築士会全体にBFやUDの問題の重要性を意識していないと感じられること。（宮崎）
- ・建築士会では、他の活動（HM）が始まったばかりで検討もこれからです。（沖縄）

### Q3 高齢者・障がい者の住まいづくり関連で、取り組んでいることを教えてください。

#### 【これまでの取り組み】

- ・平成元年頃より10年間程は、高齢者施設の見学会等や北海道独自の住宅改修マニュアルを作成し活動を行っていた。（北海道）
- ・個人の地域活動による「住宅リフォームアドバイザー」と任意団体の独自活動（秋田）
- ・住環境コーディネーターなど取得している。（栃木）
- ・福祉について県の担当者から行政の現状についてお話を聞き、福祉について学び直しています。（群馬）
- ・委員会での講演、見学会などのイベント開催（東京）
- ・福まち部会としてフォローアップ研修をしている。（岐阜）
- ・大阪市の高齢者住宅改修費給付事業の委託を受け審査業務を行っています。（大阪）
- ・「安心・安全・やすらぎの家」という冊子を製作し、市民向けのセミナーに使用したり、教材として販売しています。（大阪）
- ・以前女性委員会内UD研究会にて、「住み続けられる家」についてUDの観点からまとめた。（兵庫）
- ・小学生、高校生を対象とした福祉体験イベントを行っている。（山口）
- ・徳島市リフォームヘルパー制度への取り組みの活性化。（徳島）
- ・11月にシンポジウムを開催し建築士会における福祉のまちづくりの方向性を探る。（宮崎）

#### 【これからの取り組み】

- ・個人や任意団体との交流により、建築士会の部会活動に繋げていく。（秋田）
- ・現状を把握して、建築士としての仕事をとおして出来ることから実行したい。（群馬）
- ・他地域との情報共有、活動の連携などを促進する予定（東京）
- ・福まち部会の活動を一般の方や他職種に広報したい。（岐阜）
- ・小学生、高校生を対象とした福祉体験イベントの継続。（山口）
- ・徳島市リフォームヘルパー制度への取り組み。他団体との連携。（徳島）
- ・女性委員会を中心に勉強会を計画中。（愛媛）
- ・全国の皆様の活動を参考にし、今後取り組んでいきたいです。（熊本）
- ・建築士会の会員に福祉のまちづくりの重要性を啓発するための情報提供活動。（宮崎）

#### 【問題は？】

- ・行政、企業、民間、個人それぞれの垣根を越えて連携するためのきっかけづくりが必要。（秋田）
- ・会員の進めたいと思う方向を把握すること。実益を兼ねるには？（群馬）
- ・啓蒙活動や、行政との連携はまだまだだと感じています。（東京）
- ・審査業務では、参加者が不足しています。（大阪）

- ・女性委員会内UD研究会は15年続けてきて、次を模索している最中。（兵庫）
- ・福祉まちづくりと直接合致した活動とは言えない。（山口）
- ・県予算減少のためリフォームヘルパー制度利用可能者の減少。（徳島）
- ・福祉関係に詳しい人が居らずテーマや方向性について試行錯誤している。（愛媛）
- ・熊本県建築士会の中のまちづくり委員会のなかでどのように取り組んでいくのか、課題。（熊本）
- ・活動を始めたばかりであり、宮崎県建築士会における認識や活動の方向性も定まっていない。（宮崎）

#### Q4 バリアフリー、ユニバーサルデザインのまちづくり関連で、取り組んでいることを教えてください。

##### 【これまでの取り組み】

- ・平成30年に北海道野幌高等学校での建築士による住教育出張講座で、地域のバリアフリーやユニバーサルデザインについて授業を行った。（北海道）
- ・個人の地域活動による「住宅リフォームアドバイザー」と任意団体の独自活動。（秋田）
- ・過去には、それぞれの市町村の公共建築・市民が多く利用する場所について調査（2000年）10年後どう変わったかを女性委員会を中心に調査した。（群馬）
- ・研究施設等の見学会開催。（東京）
- ・福まち部会として、建築士の日のイベントで紹介した。（岐阜）
- ・以前女性委員会内UD研究会にて、まちのUD検証を行ってきた。（兵庫）
- ・市民と行う鳴門市ユニバーサルデザイン点検会、県のUD賞への応募建物の現地調査。（徳島）
- ・個人的には、社会人として大学院に入学し、観光地のバリアフリーの現状調査を実施したり、高齢者の一人暮らしの方々の住まい方の調査を実施したりした。また、バリアフリーデザイン研究会に所属し、活動を続けてきた。（熊本）
- ・私個人としては昨年東洋大学から人間環境デザイン学の学位を授与されたこと。（宮崎）

##### 【これからの取り組み】

- ・個人や任意団体との交流により、建築士会の部会活動に繋げていく（秋田）
- ・県各町村の現状（補助金等を含む）を調べる。（群馬）
- ・研究施設等の見学会開催（東京）
- ・福まち部会として地域のイベント等でも活動の一つとして紹介をしていきたい。（岐阜）
- ・市民と行う鳴門市ユニバーサルデザイン点検会、県のUD賞応募建物の現地調査の継続。（徳島）
- ・各専門家、行政等と協力し、弱者となっても、地域で最後まで生活できるようなお手伝いを行いたい。（熊本）
- ・博士論文は「全国自治体の建築物BF実効性」でありこれを生かしたいと考える。（宮崎）

##### 【問題は？】

- ・行政、企業、民間、個人それぞれの垣根を越えて連携するためのきっかけづくりが必要（秋田）
- ・啓蒙活動や、行政との連携はまだまだだと感じています。（東京）
- ・女性委員会内UD研究会は15年続けてきて、次を模索している最中。（兵庫）
- ・UD点検会については予算確保。（徳島）
- ・話題になる事はあるが具体的な活動につながらない、取っ掛かりが分からない。（愛媛）
- ・これからの取り組みのため、まずは一步踏み出すことが大事かと思っているが、熊本地震以降、仕事

が忙しく、なかなか取り組む時間が取れない。(熊本)

- ・現在無職であり、就活中である。(宮崎)

#### **Q5 福祉まちづくり部会に期待することを教えてください。**

- ・部会設立への指導・協力 2人(大阪、熊本)
- ・情報発信・交換 10人(北海道、秋田、群馬、東京、岐阜、山口、愛媛、熊本、宮崎、沖縄)
- ・研修会 5人(東京、愛媛、佐賀、熊本、宮崎)
- ・交流会 3人(山口、熊本、宮崎)
- ・他の地域活動への参加 2人(熊本、宮崎)
- ・ブロック内の活動活発化 2人(群馬、熊本)
- ・県や市町村へのアプローチの方法 6人(栃木、群馬、東京、愛媛、熊本、沖縄)
- ・各種専門家との連携の方法 8人(秋田、群馬、東京、岐阜、愛媛、熊本、宮崎、沖縄)

#### **【その他】**

- ・リアルに顔を合わせての会議以外に、ZOOMなどを使ったネット会議があってもいいのではないかと思います。(東京)
- ・必要性の共通理解を得るための助言や手助け(新潟)
- ・ブロック内、全国での活動の共有、連携を期待。(徳島)

#### **Q6 次年度の、全国大会函館大会や、全国まちづくり会議での福祉まちづくり部会への参加について。**

##### **【全国大会・函館大会(10月)】**

- ・参加する 2人(秋田、徳島)
- ・検討中 12人(群馬、東京、新潟、岐阜、大阪、兵庫、山口、愛媛、佐賀、熊本、宮崎、沖縄)
- ・参加出来ない 1人(北海道)
- ・無回答 1人(栃木)

##### **【全国まちづくり会議(2月)】**

- ・参加する 6人(新潟、徳島、佐賀、熊本、宮崎、沖縄)
- ・検討中 2人(東京、兵庫)
- ・参加出来ない 8人(北海道、秋田、栃木、群馬、岐阜、大阪、山口、愛媛)

##### **【問題は?】**

- ・参加するにあたっての交通費が確保できていない。(北海道)
- ・全国まちづくり会議参加は、県土会では部会が無いため予算化されておらず、遠方の場合は参加要検討である。(秋田)
- ・費用負担に尽きます(東京)
- ・活動に向けての体制づくりを模索中のため。(兵庫)
- ・委員長のみまちづくり会議に参加する予算が出るため、今後は各部会ごとに予算が付くようになる  
とありがたい。(熊本)
- ・参加のための予算獲得。(宮崎)

## Q7 福祉まちづくり部会について、ご意見を頂けましたらと思います。

- ・部会に参加して約2年ですが、思った以上部会設置が難しいことを実感。現在試行錯誤の日々ですが、今月東京建築士会開催のセミナーに参加し、福祉まちづくり・バリアフリー特別委員会のメンバーの皆さんから活動の内容や、委員会運営についての様々な事情をお聞きし参考になりました。地方の建築士会の運営状況を考えると新たな部会を設置したとしても、活動をするためには相当の計画（特に経費面）が必要である。現在の「福祉まちづくり部会」メール情報やFBによる各地の研修や講演会情報の公開で、興味のあるテーマを選びスキルアップができる。また、部会が他業種（医療、福祉等）の情報もシェアできるようになると、他分野のスキルアップができ、情報の共有も可能となると考えている。（秋田）
- ・全国建築士会連合会で国等と交渉して頂くことは非常に有効だと思います。（群馬）
- ・活動内容等のPRを上手く出来ると良いと思います。（群馬）
- ・市民が望んでいる活動や、喜んで頂ける活動に繋げていく方法を皆様から学びたい。（群馬）
- ・全国の皆さんが提供して下さる情報や活動報告、提案、イベント紹介などのデータが、どこかでまとめられていると参照しやすく、リーダーを引き継ぐなどした際もスムーズではないかと感じます。ドロップボックス他、その手のデータツールに詳しい方がいらっしゃるのですが。（東京）
- ・他県の情報が役に立っています。いつもありがとうございます。（岐阜）
- ・大阪府建築士会では、福祉まちづくり部会に該当する委員会がないので、高齢者の住まいについて勉強会を行っていたり、と近い活動をしている女性委員会が担当しております。人数も少なく、発信力も小さいので福祉まちづくり部会になかなか積極的な参加がしにくい状況です。大阪府建築士会内で参加者の組織化を検討する必要があると感じています。（大阪）
- ・積極的に活動している県との温度差を詰めていきたい。（山口）
- ・1月18・19日には、新潟建築士会から3名の方が、徳島士会の福祉まちづくり活動のヒアリング視察・研修におい出でることになっています。（徳島）
- ・徳島市からの委託で取り組むリフォームヘルパー派遣制度を中心に高齢福祉課や地域包括支援センターとの協議も含めた高齢者の住まいづくりと鳴門市のユニバーサル点検会の取り組みをご紹介します。（徳島）
- ・二月末には 徳島市医師会からの要請で リフォームヘルパー制度の学習会で講師をすることになっていますが、それだけではなく、訪問医療・看護・介護に関わる立場の人達からみた働く場としての住宅を彼らの視点から考えた場合に、より良い住まい環境に整えることにより 良き医療・看護・介護の成果が得られることを伝え、知って頂こうと考えています。（徳島）
- ・全国の状況を把握できるメリットがある。この情報を集約して活動に生かすことができる。また、BFやUDは自治体ごとに取り組み状況が異なるが、全国の建築士会の活動テーマを観光BFにすれば全国統一したBFやUDの推進のための活動ができると思う。（宮崎）
- ・部会の活動を通して、これからの福祉まちづくりの方向性を勉強していきたい。（沖縄）
- ・高齢者・障がい者に加え、子育て世代の活動しやすい街づくりについても勉強していきたい（沖縄）
- ・沖縄でも福祉まちづくりについての活動ができる部会の設立ができるよう検討していきたい（沖縄）